

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
SHSなかじよまちづくりミーティング事業		中区役所自治推進課			
事業目的	事業内容	活動指標	R3		
<p>防犯や交通安全等中区域内の議題について、若い世代の視点で効果的な啓発方法や事業の検討を行うことにより、区民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目的とする。</p>	<p>中区内の高等学校(精華高等学校、大阪府立東百舌鳥高等学校、大阪商業大学堺高等学校)の生徒に協力を得て、地域の防犯、交通安全対策を含む中区内の議題についてアンケート等を実施し、安全安心な中区を実現するため、若者の視点で啓発方法や事業の検討を行う。</p>	<p>アンケートの総回答数 【全2回】</p>	<p>41人</p>		
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	<p>防犯や交通安全の他、中区事業に関して、若者の様々な視点から意見を聞き、区政に反映することで、よりよい地域社会の実現をめざす事業である。</p>	○	<p>中区内の高等学校に通う生徒に対し、普段密接に関わる中区内の議題について考えてもらうことで、若者の意見を区政に反映することができる。</p>	◎	<p>中区内の高等学校の生徒と協力して区政について考える中区独自の事業である。</p>
④効率性		◎		<p>事前登録も不要な電子申請システムを活用し、QRコードを読み取るだけでアンケートに回答でき、コロナ禍でも多くの生徒に気軽に回答してもらえるような環境を整え、効果的な事業実施を行っている。</p>	
⑤自立発展性		総合評価			
△	<p>各校生徒会を中心に自発的また意欲的に取り組んでいる一方で、学校側が過密な業務スケジュールの中で生徒をサポートして同規模のアンケート等を自立して実施することは難しいと考えられる。</p>	○	<p>令和3年度は中区PR動画作成にあたり、中区の名所等取り上げるべき内容についてアンケートを取るほか、成人式に関する聞き取りを行うなど、さまざま事業について若者の意見を聞く良い機会となった。今後は他部署にもアンケートの議題となるような案件について照会をかけるなど工夫していく。</p>		
<p>拡充 継続 見直し 廃止</p>	<p>ジェンダーレスの時代の中で、令和3年度から男女関係なく事業に参加してもらえるよう事業内容の変更を行った。また令和4年度から「なかじよまちづくりミーティング」という名前に関してもアンケートを実施し決定した「SHSなか学コミュニティ」という事業名称に変更し、今後もアンケート等活動を行っていく。</p>				